

# 大遠忌準法要日報

第1・2号  
発行者 大遠忌局  
発行人 新美昌道  
峨山禪師650回  
大遠忌準法要

## 梅花流全国奉詠大会円成す

梅花流全国奉詠大会神奈川大会（二祖峨山韶碩禪師六百五十回大遠忌奉讃奉詠併修）が五月二十七・二十八日の日程で「シフイコ横浜 国立大ホール」において開催されました。

中華獅子舞によるオープニング、大会副会長・横井伝道部長による開会宣言の後、三松幼稚園・總持寺保育園 園児四十名により献灯献花が行われ、引続き大会総裁・曹洞宗管長 大本山總持寺貫首 江川辰三 禪師大導師による開会式法要 大本山永平寺貫首 福山諦法



禪師大導師による自然災害被災物故者並びに戦後七十年追悼法要が厳修されました。

一両大禪師相見の拝、御垂示の後、両日合わせて全国からの一万人十二組が心を合点わ登壇・自席奉詠を行いました。

午後の部では、御陣乗太鼓・峨山禪師のご生涯を描いたサウンドアート、總持寺雲衲四十名による真説とのコラボレーション、江川禪師詠題による大本山總持寺二祖峨山韶碩禪師六百五十回大遠忌奉讃奉詠と進み、行事は恙無く円成いたしました。

この期間、三千人を超える梅花講員の皆様が總持寺へお参りされました。



## 準法要始まる



六月一日より八日の日程で本山二祖峨山韶碩禪師六百五十回大遠忌準法要が始まりました。期間中、全国各地より五十一名の焼香師様が上山され、峨山禪師さま顕彰と報恩の香を焚かれます。また、法要随喜の御老師の中には前回の峨山大遠忌中に安居され、あるいは随喜された方が懐かしそうに当時の思いを語られました。

曹洞禪の威風を全国に轟かせた峨山禪師のご遺徳を偲ぶ機運が一層高まっています。



## 無事円成を願って

監院 乙川暎元

大遠忌準法要を愈々迎えました。全国の皆様はじめ多くの方々のご理解と協賛のもと、この時を迎えることに縁の不思議とありがたさを深く感じます。五十年前の遠忌には、私も再建なつた大祖堂の威容に圧倒されながら、伝令係と書かれた青いリボンを胸につけて、何も解らぬまま走り回っていたことを思い出しております。

山務に心を砕いておられます石田副監院も、学生奉仕団としてお勤めになつておられたとのことです。

大遠忌のテーマは「相承・大いなる足音が聞こえますか」であり、御両尊のみ教えは、向上心の確立であろうと思ひます。現在本山には百六十五名の雲水諸兄が弁道に励んでおります。将来を担う若き佛たちが初心の仏道の尊さを学び、高祖大師、御両尊のみ教えを正しく受け継ぎ得る道器へと成長されることを願ひます。

祖師方のみ教えの大きいなる響きに耳目を敬て、教えを自分に深く刻み、心をもって相承に努める時に大遠忌の大円成があるものと確信します。

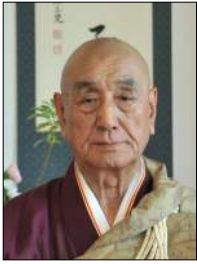
## 記念報恩公演 祈りの調べ



六月二十三日（火）にみなとみらいホールにおいて池辺晋一郎氏書下ろしのオーケストラ演奏と読経のコラボレーション『祈りの調べ』、池辺晋一郎と僧伽の出逢い、が開催されます。チケットは全席指定、発売中です。香積台売店でも購入できます。

日時 六月二十三日  
午後二時 開演  
場所 みなとみらいホール  
チケット取扱  
東京コンサーツ  
〇三・三三二六・九七五五

第一日 六月一日



献湯 北海道中央院  
荒澤義範老師



献湯 静岡県林入寺  
五藤秀典老師



献供 大阪府高安寺  
稲本實童老師



献供 福井県洞源寺  
大知良説老師



献粥 新潟県長福寺  
永島玄隆老師



献粥 新潟県醫泉寺  
菊地光彦老師

第二日 六月二日



献湯 新潟県頭聖寺  
田中雄司老師



献供 兵庫県全昌寺  
越賀公道老師



献供 神奈川県保福寺  
高橋亮英老師



献粥 奈良県平等寺  
丸子孝法老師



献粥 北海道大雄寺  
奥村孝善老師



献湯 愛知県福田寺  
加藤大淳老師

第三日 六月三日



献湯 群馬県大通寺  
松尾崇憲老師



献供 岩手県龍澤寺  
塩竈博隆老師



献供 広島県延命寺  
星山俊隆老師



禺中 山口県法明院  
藤田和彦老師



献粥 北海道清泉寺  
田村保治老師



献湯 山口県大寧寺  
岩田啓靖老師

第四日 六月四日



献湯 三重県安樂寺  
竹内寛方老師



献供 島根県福正寺  
青木壯文老師



禺中 岡山県千光寺  
早川石峯老師



禺中 長崎県光雲寺  
福田光昭老師



献粥 熊本県明德寺  
安田清文老師



献湯 愛知県泉龍院  
加藤展博老師

第五日 六月五日



献供 富山県天香寺  
菅田宣雄老師



献供 青森県梅林寺  
三國典昭老師



禺中 滋賀県東円寺  
藤木道明老師



献粥 徳島県黒松寺  
矢野通玄老師



献粥 福岡県太平寺  
高階弘昭老師



献湯 茨城県龍心寺  
花和浩明老師

第六日 六月六日



献供 山形県松根庵  
藤原知雄老師



献供 山形県萬松寺  
平清水公宣老師



献粥 愛媛県観音寺  
上本英雄老師



献粥 兵庫県樂音寺  
宇治田透女老師



献湯 岐阜県雲龍寺  
亀山浩運老師



献湯 山梨県円通院  
佐々木俊道老師

# 本山二祖峨山韶碩禪師 六百五十回大遠忌準法要焼香師

第七日 六月七日



献粥 山形県瑞雲院 中川拳宗老師



献粥 愛媛県香林寺 有田澄光老師



献湯 山梨県大聖院 阿部俊正老師



献湯 三重県來迎寺 辻村京俊老師



献湯 静岡県盛福寺 阪野全治老師



献湯 長野県禅透院 宮本知足老師



献湯 埼玉県神仙寺 齋藤征良老師



献供 埼玉県徳林寺 山崎恵明老師



献供 長崎県龍藏寺 植村秀輝老師



禺中 静岡県三明寺 大嶽正泰老師



献湯 新潟県長禅寺 松井信弘老師



献供 石川県松山寺 川端眞美老師



禺中 宮城県洞林寺 三宅良憲老師



献粥 秋田県補陀寺 大山陽堂老師



献粥 佐賀県永源寺 杉岡龍道老師

第八日 六月八日

二祖峨山禪師六百五十回大遠忌記念・鶴見のまちの大遠忌特別イベント「總持寺無料拝観と坐禅体験」（企画・布教文化部、協力・拝観ガイド）が準法要期間中の六月六（七日（土日））に開催されました。午前十時から午後三時過ぎまで拝観ガイドによる諸堂拝観、途中布教教化部による衆寮での坐禅体験が行われ、二日間で五百名を超える参加者が集まりました。



鶴見のまちの大遠忌 特別イベント  
無料拝観と坐禅体験



- 一日（月）清野暢邦師
- 二日（火）柴田康裕師
- 三日（水）森 正道師
- 四日（木）高橋道英師
- 五日（金）照井文隆師
- 六日（土）守屋敬道師
- 七日（日）田中清元師

大遠忌記念・鶴見駅ビル「シアル」禅カフェ特別企画「法話と坐禅」が準法要期間中の六月一〜七日の日程で開催されました。毎回、定員の三十名に達する参加者が法話と、屋上庭での坐禅を行いました。

鶴見駅ビル「シアル」禅カフェ特別企画  
法話と坐禅



六月七日 晴時

二祖峨山韶碩禪師報恩諷經  
導師 山口副監院老師

- 一、小鐘一会 聖号  
(南無峨山二祖禪師、南無峨山大禪師)
- 一、導師上殿
- 一、上香普同三拜
- 一、献蜜湯三拜 永光独詠
- 一、中掛三拜
- 一、拈香法語
- 一、大悲真読
- 一、詠讚歌奉詠

峨山禪師讚仰御和讚

- 一、回向
- 一、普同三拜
- 一、導師退堂 聖号  
(南無峨山二祖禪師、南無峨山大禪師)



# 準法要後のおもな行事・行持

## 總持寺二祖峨山禪師をめぐって



大本山總持寺二祖 峨山禪師  
六百五十回大遠忌を記念して、  
シンポジウムを大本山總持寺・  
鶴見大学仏教文化研究所共催に  
行います。

峨山禪師の功績とその思想、  
さらに曹洞宗教団発展の背景に  
関して多角的に考察するシンポ  
ジウムです。幅広く皆様方のご  
参加をお待ちしております。

日時 六月十三日(土)  
午後一時半～午後四時半  
場所 鶴見大学会館  
メインホール  
鶴見区豊岡町三十八  
聴講無料・申込み不要

### ■基調講演

- 「江戸期峨山派の動向」  
圭室文雄  
(明治大学名誉教授)

### ■講演

- 「峨山禪師の御功績  
檀信徒との関係について」  
尾崎正善(鶴見大学仏教文  
化研究所客員研究員)
- 「峨山禪師の禅風『山雲海月』  
を中心として」  
松田陽志(駒澤大学准教授)
- 「峨山禪師の弟子達  
―通幻寂霊を中心として―」  
山口正章(大本山總持寺  
副監院)
- 「五院輪任制度について  
―その和合の精神を考える―」  
宮地清彦(曹洞宗総合研究  
センター専任研究員)
- コーディネーター  
下室覚道(鶴見大学准教授  
・同仏教文化研究所主任)

## 献茶式・大茶会

二祖峨山禪師六百五十回大遠  
忌奉修にあたり、御両尊へ報恩  
感謝の献茶式・大茶会を執り行  
います。

※現在、茶券満席となっております。  
ご了承ください。

### 【献茶会】

日時 六月十八日(木)  
午前十時より  
場所 大本山總持寺大祖堂

### 【大茶会】

日時 六月十八日(木)  
茶席 午前九時～午後三時半  
場所 濃茶 紫雲台 不老  
薄茶 紫雲台 松  
(淡交会横浜支部)  
薄茶 待鳳館  
(淡交会東京第一西支部)  
点心 本山精進膳  
奉仕 裏千家今日庵坐忘齋  
千宗室御家元

まんが峨山さま



峨山禪師のご生涯をわかりや  
すく学ぶため、『まんが 總持  
寺二祖峨山さま』を発刊いたし  
ました。

多くの皆様にお読みいただけ  
るよう、インターネット経由に  
てパソコン、スマートフォンで  
ご覧いただけます。

<http://sojo.jp/dbook/dbo-ok.html>

## 編集後記

準法要日報第二号を一  
号と合併号として発行の運  
びとなりました。

最終八日の焼香師一覧写  
真を追加したものを、大遠  
忌局のホームページに掲載  
させていただきます。

<http://sojo.jp> (編集子)